資料１－１

みんなで育てよう

仙台市みどりの基本計画の中間評価について

平成27年10月27日
第71回杜の都の環境をつくる審議会

本日の審議事項

中間評価の流れ

- 方向性の確認　…第70回審議会

  中間評価の位置付け，作業概要，視点，スケジュール等について審議

- 中間報告　…第71回審議会　（今回）

  上半期の進捗状況，目標達成状況，下半期の進め方等について審議

- 最終報告　…第72回審議会　（H28年1月下旬予定）

  百年の杜づくりプロジェクト推進計画　2016-2020等について審議

上半期の進捗状況（その1）

震災復興の取り組み状況

・都市公園復旧工事（399/413公園、H25年度完了）
・海岸公園　震災がれき処分場として利用後復旧工事に着手（H27）
・被災者へのみどりの支援受け入れ
・みどりに関する災害記録誌作成
・ふるさとの杜再生プロジェクト開始　　など

◆身近な公園の復旧→海岸公園復旧→海岸公園再整備（第2ステージへ）
◆仮設住宅への緑の支援受け入れ→防災集団移転地への緑化支援（生垣助成拡充）→ふるさとの杜再生プロジェクトによる東部地域の緑の再生

復旧から復興への取り組みへ推移、長期にわたる事業については、仙台市震災復興計画終了（平成27年度）後も引き続き継続

上半期の進捗状況（その2）

震災復興の取り組み状況

災害記録誌

蒲生雑子袋北公園（復旧前後）

仮設住宅へのみどりの支援

上半期の進捗状況（その3）

その他の取り組み状況

・大規模公園の整備、再整備
　青葉山公園：仙台国際センター展示棟設置（H27年4月）
　高砂中央公園：うみの杜水族館開園（H27年7月）
　西公園再整備　等
・特別緑地保全地区指定（3ヶ所）
・保存樹林として沿岸部の居久根や市街地の屋敷林を指定（2ヶ所）
・卸町緑化重点地区指定（H27年12月予定）
・広瀬川創生プラン改定（H27年3月）　　など

大規模公園の整備・再整備の進捗、みどりの保全の法制度への移行、新たな緑化重点地区の指定など、当計画に基づく事業が進捗

上半期の進捗状況（その4）

その他の取り組み状況

青葉山公園（国際センター地区）

高砂中央公園（仙台うみの杜水族館）

枡江特別緑地保全地区

日辺の居久根

子平町の屋敷林

目標の達成状況（その1）

みどりの量に関する目標

平成27年4月1日現在

	評価対象	指　　標	平成32年度（目　標）	現在値	評　価
目標1	市域全域	みどりの総量（緑被率）	維持・向上（78.8%）	79.3%	◎
目標2	都市計画区域	都市公園等の一人当たり面積	20㎡	15.5㎡	△
		都市公園の一人当たり面積	17㎡	12.5㎡	△
目標3	市街化区域	市街地のみどりの総量（緑被率） 担保性のある緑地の面積	維持・向上(29.8%) 250ha増	32.1% 27.0ha増	◎ △

【凡例】　◎　達成
○　良好・順調
△　やや難

目標の達成状況（その2）

みどりの質に関する目標

【目標1】 自然災害を防ぎ、被害を軽減する「みどりの質」を高めます

【目標2】 生物多様性の保全や地球温暖化の緩和に寄与する「みどりの質」を高めます

【目標3】 市民ニーズに対応し、快適な暮らしを支える「みどりの質」を高めます

【目標4】 歴史や文化と調和し、仙台らしさを表す「みどりの質」を高めます

【目標5】 市民が仙台のみどりを地域の誇りと感じ、様々な主体が連携してみどりの活動を行う「みどりの活動環境の質」を高めます

目標の達成状況（その3）

百年の杜づくりプロジェクトの成果目標

平成27年4月1日現在

質目標	目標	指　　標	平成32年度（目　標）	現在値	評　価
目標1	みどりによる津波防災	海岸防災林の植林面積	対象面積全て	9.14ha/3年	○
		海岸公園の開園面積	一部開園	休園中	○
目標2	みどりの骨格充実	二酸化炭素固定量	42,500t/年	33,229t/年	△
		身近な生き物の認識度	現在より向上（9種合計900%中448.4%）	386.4%	△
目標3	街のみどり充実	市街化区域内の民間地の緑化面積	50ha増/9年	13.77ha増/3年	△
		市街化区域内の樹林地面積	現状維持（3,836ha）	3,757ha	△
	魅力ある公園づくり	街区公園整備・再整備箇所数	450箇所/9年	106箇所/3年	△
		市民の公園利用頻度	現在より向上	ほぼ現況時並み	△
目標4	みどりの地域資源活用	保全制度による屋敷林・鎮守の杜の新規保全箇所数	10箇所増/9年	2箇所増/3年	△
		百年の杜ホームページのアクセス数	120,000件/年	78,002件/年	△
	「百年の杜」シンボルエリア形成	仙台都心部緑化重点地区内緑被率	13%	13.5%	◎
		仙台都心部10路線平均緑視率	30%	31.7%	◎
目標5	市民主体のみどりのまちづくり	みどりの市民活動団体主催の市民向けイベント数	1,500件/9年	404件/3年	△
		みどりの活動を行う事業者数	2,300事業者/9年	912事業者/3年	○

目標の達成状況（その4）

みどりの質の目標が実現しつつある事例

【目標1】・ 津波被害の軽減に寄与する海岸防災林の植樹に着手

【目標2】・ 生物の生息、生育地となる公園緑地である与兵衛沼公園等の整備

【目標3】・ 市民ニーズを反映した、公園の整備、再整備の実施

・ 各種緑化助成による住宅地の緑化推進

【目標4】・ 青葉山公園、大年寺山公園等の整備による、歴史や文化資源と調和したみどりの充実

【目標5】・ 緑の活動団体や広瀬川市民会議等、様々な主体がみどりの活動を実施

市民意識（その1）

みどりのまちづくりワークショップ

平成27年8月30日（日）13：00～16：00

七北田公園都市緑化ホール

市民意識（その2）

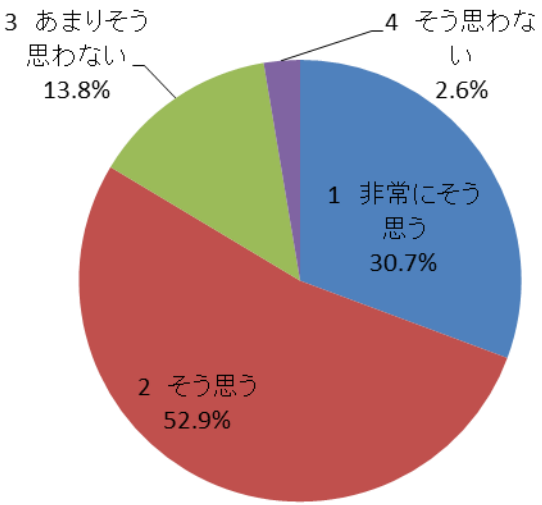
モニター調査

対象：市政モニター 200名

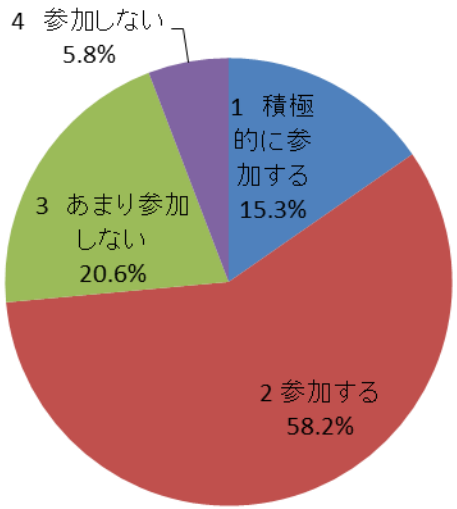
期間：平成27年7月23日～平成27年8月6日

「環境不動産価値」

Q： 最近，地球環境問題への関心が高まるなかで，良質なみどりの存在が不動産価値を高めるといわれ始めています。あなたは良質なみどりが不動産の価値を高めることがあると思いますか。



Q： 良質なみどりの存在があなたのお住まいの不動産の価値を高めるということであれば，あなたはそのみどりの維持管理活動に参加しますか。

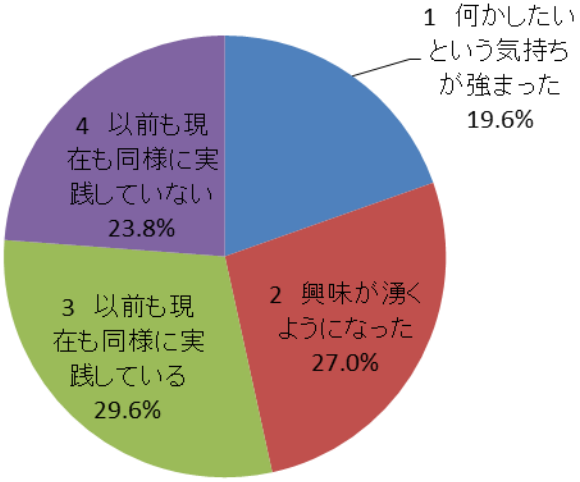


市民意識（その3）

モニター調査

「震災後の気持ちの変化」

Q:　東日本大震災後（震災後1年程度まで）と現在で，みどり豊かなまちづくりについて気持ちの変化はありますか。



社会情勢の変化とその対応（その１）

◆ 長期にわたる復興事業の継続的な取り組みの必要性

・ 仙台市震災復興計画は平成27年度末終了

・ 都市基盤やみどりの再生などは引き続き取り組みが必要

◆ 地下鉄東西線開業を契機とした新たなまちづくりの高まり

・ 地下鉄東西線開業に伴う新たなまちづくりの始動

◆ 人口減少社会の到来

・ 震災後の流入増により推計人口のピークは5年先送り（H27→H32）

・ 平成３２年以降は緩やかな減少局面に転化

◆ ソーシャル・イノベーションの機運

・ 既存ストックの活用など社会変革の機運の高まり

◆ 急激な気候変動

・ ゲリラ豪雨や土砂災害等の気象災害が頻発

社会情勢の変化とその対応（その2）

◆ 長期にわたる復興事業の継続的な取り組みの必要性
◆ 地下鉄東西線開業を契機とした新たなまちづくりの高まり

計画掲載事業の重点化

○ 東部被災地域の復興

- 海岸公園：災害復旧工事の完了、「避難の丘」整備、第2ステージの準備
- ふるさとの杜再生プロジェクトによる東部地域のみどりの再生

○ 地下鉄東西線沿線まちづくりの推進

- 新駅周辺公園の重点整備（青葉山公園・西公園・高砂中央公園等）
- 卸町緑化重点地区の緑化推進による卸町駅周辺のまちづくりへの貢献

社会情勢の変化とその対応（その3）

- ◆ 人口減少社会の到来
- ◆ ソーシャル・イノベーションの機運
- ◆ 急激な気候変動

次期基本計画を見据え
新たな視点での検討開始

○ 機能集約型市街地形成

機能集約型の市街地形成に資する、都市公園のストックの再評価や利活用、統廃合も含めた公園の再編等について検討を始める。

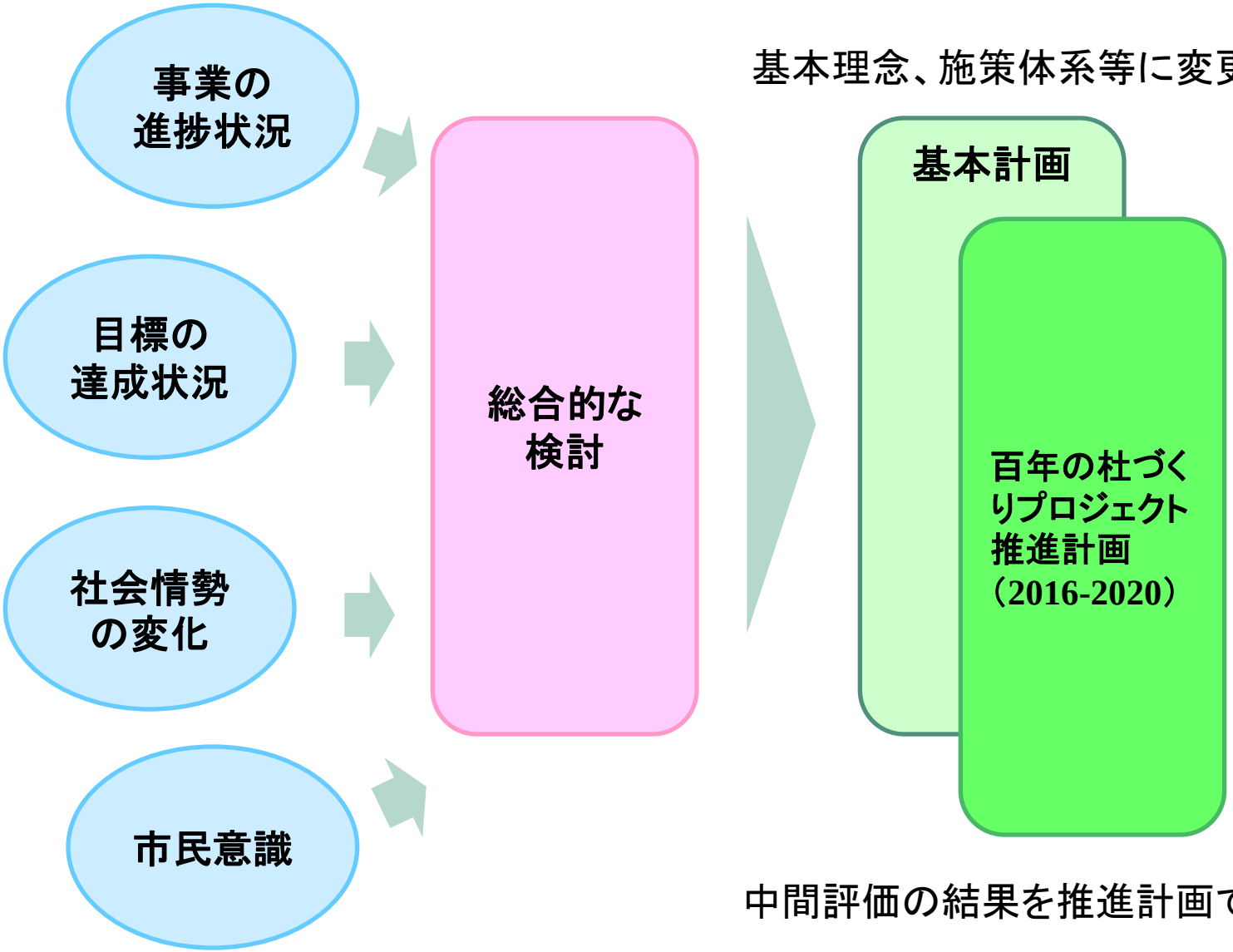
○ 経営的視点を取り入れた管理運営

公共施設の規制緩和や民間活力の導入等、経営的視点を取り入れたパークマネジメントについて検討を始める。

○ 気象災害に配慮したみどりの活用

近年、頻発化・激甚化している豪雨や、それに起因する土砂災害等の気象災害への備えとなる、みどりの機能や役割について検討を始める。

まとめ



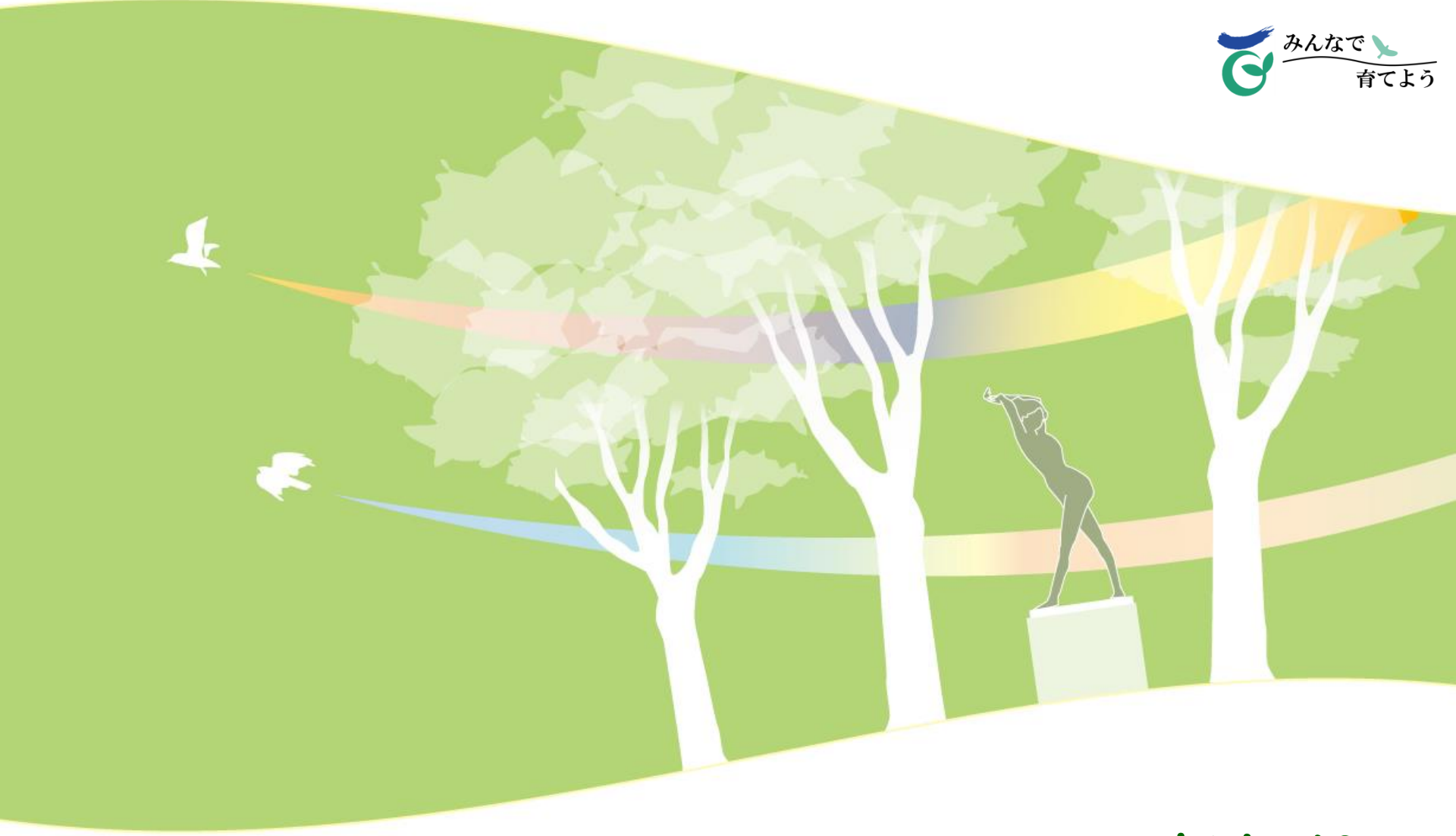
基本理念、施策体系等に変更なし

中間評価の結果を推進計画で表現

今後の進め方

スケジュール

年月	審議会	中間評価スケジュール	
平成27年5月	第70回	方向性の確認	・杜の都の環境をつくる審議会 ・仙台市緑化推進本部
6月			
7月		庁内検討作業	・モニター調査 ・ワークショップ
8月			
9月			
10月	第71回	● 中間報告	
11月		最終案作成（百年の杜づくりプロジェクト推進計画2016-2020 ）	
12月			
平成28年1月	第72回（予定）	● 最終報告	・杜の都の環境をつくる審議会
2月		修正	・常任委員会
3月		完了（予定）	・仙台市緑化推進本部



おわり